

緑のマイスター養成講座 第2期 報告会代替資料 コメント

桑原 たか子

01 デコトラ

テーマ：チームデコトラの飽くなき挑戦

軽トラの荷台に植栽デコレートするというユニークな活動でした。実際の活動日に伺いたかったのですが、都合がつかず残念でした。“チームデコトラの飽くなき挑戦”とのことですので、今後もまだまだ進化発展されると思いますので、今後を楽しみにしています。

イベント会場に軽トラで乗り付け、それがそのまま写真撮影スポットに活用できる、とはとても魅力的なアイデアだと思います。しかも、メンバー各自がプランターやグッズを持ち寄って、その場で完成させる、というのは手品みたいですね。デコトラを巡るスタンプラリーなど、いろいろなイベントに派生できそうですね。

持ち寄られたプランターは、どれも素敵でしたね。実際に軽トラに飾りつけされたものは、さぞ見栄えがしたこととおもいます。

今回は実費負担された費用の面も今後の課題の一つかと思いますが、当初の予想以上にポテンシャルを秘めた企画であると確信した、とのこと。是非、今回を皮切りに、様々な新たな企画へと発展させてほしいと期待しています。

素敵な企画と実践、さすがでした。大変お疲れ様でした。

02 「杜の都」チーム

テーマ：街路樹について

熊本市街地の街路樹の実態調査およびあり方についての調査をされました。杜の都熊本らしいとても良い視点だと思いました。

チームでの打合せは月に一度ずつのようですが、調査書を拝見すると、街路樹の歴史から街路樹マップ、各地区のコメントなど内容が豊富で驚きました。熊本市域街路樹再生計画をはじめ、参考文献、引用文献をしっかりと調査され、街路樹を起点に、地球規模での環境問題まで広げて考え、提言していただいたように思います。

調査内容を実際の活動報告会でお聞きしたいところでしたが、かなわず残念でした。

マップの中にある“ピンクリボン”は何だろうと思いましたが、8頁に説明があり理解しました。籠町通りでは、害虫を発見されたのですね、道路保全課に連絡していただいたそうで、大変お世話になりました。

各通りの位置情報のコメントは、知らないことが多く興味深いものでした。

また、現況解説に、皆さんの思いが入っていて、調査書がぬくもりの感じられるものになっていると思いました。

参考の部分までつけて下さり、非常に勉強になりました。非常に細かい調査研究所の仕上がりでした。大変お疲れ様でした。

03 土曜の KYMY

テーマ①：屋上サクラマチガーデン植物図鑑作成

テーマ②：ゆるっとナ  ガーデナーズ花壇づくりの活動及び花壇マップ作成

2つの活動を同時進行的にされたようで、すごいですね。大変お疲れ様でした。養成講座でのワークショップの時から、意欲的にいろいろな展開を考えておられたので、楽しみにしておりました。

まず、屋上サクラマチガーデンは施工された西部造園様にも連絡され、作業の許可申請書を提出するなど、手続きも大変、お手間だったことと思います。

「SAKURAMACHI GARDEN 植物図鑑～屋上編～」は15頁にわたるボリュームで、プロが作ったようなクオリティでびっくりしました。サクラマチガーデンの保存版となることでしょう。多くの樹木・植物があったようで、それにもびっくりしました。それぞれの説明もコンパクトにまとめてあり、非常に見やすく、読みやすく、素晴らしいです。調査結果はSNSを活用して進めたとのこと、話し合った（コメント）も相当な量だったのではないのでしょうか。

また、屋上緑化の建築技術と管理体制に感動した、とのコメントがありましたので、その点も少し紹介されてもよかったのではと感じました。今後機会があればお願いします。

次の、ゆるっとナ・ガーデナーズ花壇づくりの活動及び花壇マップ作成についても、素晴らしいマップが仕上がっていて感動しました。

10月から1月まで、ほぼ毎週のように活動されたのですね。水管理や補植、球根の仕分けと球根投げなど、多様な活動をされたようで大変お疲れ様でした。その上で、このマップを製作されたのですから、すごいとしか言いようがありません。球根の植え方、開花時期一覧、花壇毎の花の一覧、とても見やすくて、花壇を回るのが余計に楽しくなりそうです。出来上がったマップや図鑑を見ることも楽しいですが、やはりそれを製作する側の方が、学び多く、経験こそ意義があるものだったと思います。多くの活動からアウトプットまで大変お疲れ様でした。有難うございました。

04 くまもと文学・歴史 花と緑の探偵団

テーマ：くまもと文学 花と緑の散策～文豪・文人の足跡（句碑・歌碑）を訪ねて

「文学から見るくまもと」をアピールするということで、このテーマを掲げられ、熊本に縁のある文豪・文人が愛でた花や緑に注目して活動されたのは、とても素敵な着眼点だと思いました。資料に載っていない皆さんの深い思いや知識などを実際の活動発表をお聞きできなかったことが残念でした。

全員集合の活動は2回と最小限にされ、11月に県立図書館から坪井、植木町などへ、12月は熊本市動植物園などを視察学習されました。

メンバーの皆さんそれぞれが、主体的に楽しんで活動されたからこそ、全体学習のあとは各自でまとめる、という効率的な活動が出来たのだと思います。素晴らしいです。それぞれの頁も、紹介ポイントがよくまとまっていて、見やすく、読んでも眺めても素敵な仕上がりだと思います。それぞれの頁に、花や樹木の写真か絵などが欲しいかな、と思いました。

文豪・文人と花と緑を掛け合わせた企画というのは、なかなか思いつかない視点です。花と緑から、熊本の歴史や文学に思いを馳せるなんて、とてもロマンチックだと思いました。新しい視点の活動、本当にありがとうございました。お疲れ様でした。

最後に、素敵なしおりも製作いただきありがとうございました。記念になりますね。大変お疲れ様でした。

05 五つ葉クローバー

テーマ：五つ葉クローバーの ABCDE 大作戦 ～これでいいのか市役所前！ 花も育て人も育てる～

市役所前の花壇（長方形の花壇3基）をメンバー4名と緑のマイスター7名の計11名で植え替えされました。「ABCDE 大作戦⇒あいうえお、Never Ending」というしっかりしたコンセプトづくりから、実際に花屋にインタビューしたり、話し合いを重ねての植栽計画、購入計画、シミュレーション、などとても丁寧に準備を重ねて、12月12日に実際の活動をされたとのことですね。大変お疲れ様でした。

土づくりが結構大変で疲れた、花植えと別日程にすればよかったとのコメントがあり、本当に大変だったことと察します。でもそれだけ良い土づくりができたのでしょうね、お疲れ様でした。

実際の植栽以降の経過観察も載っていました、これから春に向けてより一層成長し様子が変わっていくのも楽しみです。

花を好きになり、自信をもって緑化活動ができるようになった、とのコメントがありました。これらの活動を通して何よりも素敵なコメントだと思います。一人ではできることに限界がありますが、共通のテーマで、チームで取り組むことでやりがいも実際の成果も倍増したのではないかと思います。

今後、普段から公園などを観察しておきたい、とか、1人で1基ずつ担当する、QRコード付きの花の名札をつけるなどの工夫、など素晴らしい抱負があるようです。ぜひ、これを機に、これからも継続して活動を続けていただきたいと期待しております。

06 東野ロード・クリーンの会

テーマ：幹線道路の植樹帯での花壇づくり

道路沿いの 5 か所の花壇の植栽をされました。幹線道路沿いの作業は危険も伴うため気を使われ大変だったことと思います。しかも、活動メンバー 3 名という少人数で、作業も多かったし、ご苦労されたことと思います。報告書から、メンバーのご家族も参戦されたことがわかり、アットホームな活動になったようですね。大変お疲れ様でした。

花壇の植え付け場所の決定、花苗の剪定、支援金の申し込みなどの手続き一切、厄介な茅の根の伐根をしてお土づくり、そして植栽までの一連の流れを通して活動されました。これは、これからの地域の花壇づくりの模範となる活動になったのではないかと思います。

花壇に車両が乗り上げてしまうための対策として、花木名札を車両から見えるように工夫して設置されたというアイデアもさすがだと思います。

実際の活動は、養成講座の合間の 7 月から、翌年 1 月一杯までほぼ毎週のようにされていたようで、本当にお疲れ様でした。確かに、今回の花苗は春夏咲きが多いようですので、季節が終わったら、秋冬に向けての作業が必要になるようですね。継続的な活動を期待しています。

活動発表時の役割分担も準備されていたようで、実際に発表をお聞きできずに本当に残念でした。

花苗の支援を受けた「くまもと緑・景観協働機構」は 5 年間の良好な環境を維持することが条件とのことですので、これからまた、新たな課題が出てくるかもしれませんが、あまり負担にならないよう、楽しみながら活動が続けていかれることを応援しております。

これからの活動は地域の方の手本的活動となると思います、そして地域から愛され、癒しになることと思います。がんばってください。

07 さわがにの会

テーマ：竹取物語大作戦

戸島神社を元日に初詣される方に、“かぐや姫”（竹筒の花：ビオラ、パンジー：50 鉢）を配布されました。

1 1 月に種まき、竹筒づくりをされ、戸島神社関係者や戸島山竹林を守る会と連携関係を構築されたようですね。

1 2 月 1 5 日の竹飯会への招待、ギター付き、というのは何とも楽しそうで魅力的な会でしたね。その後に、看板づくり、竹筒に苗植え込み、境内に運び込み、設置と、それはそれは大変な活動のようでした。大変お疲れ様でした。

当初の目的の「優しい心を育む」という思いが伝わったからこそ、50 個すべてが持ち帰ってもらえたのだと思います。とても素敵な企画だったと思います。

しかも、1 月の末にかけて、50 鉢が 225 人へ、思わぬ展開になったそうで、“優しい心”が伝染していったようですね。本当に素晴らしい活動でした。

表紙に「②活動募金」の金額が載っていましたが、これは一般の方から集まったものなのでしょうか。そうであれば、ボランティア活動の成功事例だと思います。素晴らしいです。

必要資金をどう賄うのかという点も、ボランティア活動を運営継続していくための要の課題かと思われます。引き続き、募金や、くまもと・わくわく助成金の申請など、検討いただき、皆さんの知恵や工夫を情報共有していけたらと思います。

今後の活動として、戸島山を季節の花で彩る、地域の多くの方々の協力を得て（子どもたちも巻き込む）共同作業、とあります。地域緑化活動の理想的な形だと思います。是非とも継続活動していただきたいと期待しています。

08 桜

テーマ： 発見！万日山（万日山プランター花植替え）

チームメンバー皆さんの近くの万日山を活動場所として決められ、万日山緑地公園内プランターの花の植え替えをされました。

回覧板、知り合い店舗にチラシ掲示の広報活動でボランティアを募集されたのは、良いアイデアだと思いました。

そのためのチラシはとても素晴らしいものですね。レイアウト・作成など、大変お疲れ様でした。

報告書には記載がありませんでしたが、11月28日の植え替え日までには、チラシ作り含めて、様々な事前準備や打ち合わせなどがきっとたくさんあったのではないかと思います。大変お疲れ様でした。

当日集まってくださったボランティアさん合わせて9名と一緒に、プランターの花植え替えをされたとのこと。プランターは全部でいくつあったのでしょうか。パンジーや葉ボタンの苗を植えられたようですね。球根もあるようですね。プランターがにぎやかになり、近隣の方々も喜ばれたことでしょう。

「困ったこと」に、多くの反省点をあげておられるので、今後の活動に活かしていただければいいと思います。大変お疲れ様でした。

09 この木なんの木

テーマ：立田山の樹木への名札付け

立田山（森林ミュージアム立田山憩いの森）の観察 A コース、B コース、お祭り広場の樹木の名札付けをされました。名札は合計 155 か所につけられたとのこと、すごい量でびっくりしました。しかも、既存の名札、65 か所もきれいに洗ってピカピカにされたとのこと、皆さんの樹木への愛を感じました。大変お疲れ様でした。

名札板の素晴らしい仕上がり感動しました。切断、研磨を担当された坂本さんは大工さんかと思ったほどです。

名札付けをすることで、それぞれのコースには、どこにどのような樹木があるかという調査が重要であり、とても詳しくなれたのではないのでしょうか。39 種もあったなんて驚きです。管理センターの大野さんも、喜んでサポートしてくださったのではないかと思います。

今後、立田山を散策する方には、樹木の名前がわかり改めて楽しみが増えるのではないかと思います。3 月からの花博で、たくさんの方が立田山に入られると思いますが、樹木に名札ついていることで、緑マイスターさんのホスピタリティを感じられることと思います。

名札付けはこれまでなかなかできなかったことであり、今回のこの木なんの木チームの活動に感謝いたします。有難うございました。

10 TEAM SUNDAY

テーマ：ふれあい型体験教室の実現

ふれあい型体験教室の実現を目指して、ハーバリウムやリースづくり、壁飾りなどの製作をされたとのこと、コロナ禍で制約が多く、大変だったことと思います。お疲れ様でした。

持続可能な活動、コロナ禍でも活動できる内容ということで、プランターづくりは中止されたようですが、ハーバリウムの材料はメンバー各自が持ち寄り、リースづくりの材料は立田山で材料を採取とのこと、知恵と工夫で活動されたようです。

完成したモノは、作って終わりではなく、幼稚園や小学校に贈呈されたようで、活動の締めくくりとしてとても意義あるものだと思います。さぞ喜ばれたことと思います。

振り返りのコメントの中に、市民緑化活動の実践をチームとしてできたことが自信につながったとありました。講座で初めて会った方とチームになり、一つの活動を遂行されたことは本当に素晴らしいと思います。

今後ぜひ、ふれあい型体験教室の開催につなげてほしいと期待しています。

11 チームひまわり

テーマ：香りの森の葉っぱでマップ作り

東区戸島西の「香りの森」の樹木調査、大変お疲れ様でした。香りの森にある樹木の葉を採取して、押し葉の作成、標本化、マッピング、という調査で、細かい作業も多く大変だったことと思います。香りの森の中を5か所に分けて、それぞれの標本化された樹木の葉っぱをマップにされたとのこと、大変お疲れ様でした。

「香りの森の葉っぱのマップ」はとてもきれいな仕上がりに感動しました。

このマップがあれば、「葉っぱから樹木探し」、「葉っぱから樹木名を当てる」など、いろいろなゲームができそうです。ここ香りの森で、そのようなゲームをしながら、緑と仲良くなる学習会等が企画できそうで、わくわくします。

地域の公園などの葉っぱ調査は、学校や地域活動で、住民が地域を知る創造的活動のお手本になるのではないのでしょうか。とても良い活動と、アウトプットを有難うございました。

肥後花菖蒲の植え替えは残念ながら、次回に先送りになりましたが、このマップ作りだけでも十分素晴らしい活動だったと思います。

葉っぱのしおりも作りたいとのコメントがありましたが、私も欲しいです。楽しみにしています。大変お疲れ様でした。